

# GOVERNOR'S

## MONTHLY LETTER

2014-2015 Rotary International District 2760

ガバナー月信

# 12

2014 December



おすすめおさめしんじ  
御煤納神事

※掲載されている写真等の無断転載はご遠慮ください。

おすすめおさめしんじ  
御煤納神事

輝かしい新年を清々しく迎えられるよう、社殿の煤を祓い納める神事です。

ガバナーメッセージ.....	02	お知らせ.....	21
ガバナー活動報告.....	03	ロータリーコーディネーターニュース.....	22
ガバナー公式訪問報告.....	07	文庫通信.....	24
委員会報告.....	15	会員数及び出席報告.....	25





▲ 右より田中元 R I 会長、北 R I 理事

## ガバナーメッセージ

### ガバナー 近藤 雄亮

皆さんこんにちは。最初のオアシス、11月1日～3日に実施されたロータリーデーはどうでしたか。大変多くの地区内外のロータリアンの皆様に参加して頂き、ロータリーファミリーと一緒に力をあわせ

汗水流して頑張りました。特に最終日は「Japan Rotary day in Aichi」と位置付けての開催になりました。北 RI 理事、田中元 RI 会長にはご挨拶も頂き本当に嬉しく思うと同時に何か心に熱きものを感じました。ガバナー公式訪問で会員の皆様方に「ロータリーを一言で言えば“感動”だ、そしてこの感動をシェアすることだ」と言い続けていますが、私自身が皆様に感動を与えて頂きました。私の心に残るロータリー体験になったことは間違いありません。この感動体験を何時の日か、ご都合悪く来られなかった地区内外のロータリアンと分かち合いたいと思います。そして企画の中で最も重要と位置付けておりました一般の人達の参加であります。一般の人達は楽しんで頂けたでしょうか。ロータリーの活動に対して理解を深めて頂けたでしょうか。私は皆さん楽しまれた中でロータリー活動に対する理解を深めて頂いたものと、確信を致しております。矢張り人は集まってわいわいがやがややるのが楽しいです。今年度の地区方針「集まろう・語ろう・楽しもう」が全て凝縮されたイベントでした。ロータリーの活動の一つにはこの様に、「人が集まり、歌あり、話あり、笑ありの広場を提供する」ということがあると思います。今年度の RI 会長ゲイリー C.K. ホアン氏は我々にクラブ単位、あるいは地区単位、あるいは国単位で一般の人達が楽しんで参加できるロータリーデーを開催するという具体的な指針を与えてくれました。

第 2760 地区内ではクラブ単位でのロータリーデーの開催を幾つかのクラブでやって頂いております。地域の人達と一緒に楽しく、有意義だったという声が聞こえてきます。やって良かったと心から思っております。

企画の段階から運営に至るまでご苦勞をお掛けしました皆様、陰で支えてくれました事務局員の皆様本当に有難うございました。また、地区内パストガバナーのご支援の賜物と深く感謝申し上げます。遠くからは大勢のシニアリーダーの方達、同期のガバナーの皆様が駆けつけて下さいました。皆様お忙しいところ本当に有難うございました。紙面をお借りしまして厚くお礼を申し上げます。

次は後半にあります、もう一つのオアシス、地区大会に向かって皆と力をあわせ頑張っていきたいと思います。会長・幹事・会員の皆さん関係各位の皆様宜しくお願い致します。

Thank you very much for coming and enjoying “District Rotary Day”





## 第2回ワールドフード+ふれ愛フェスタを終えて

W F F 実行委員会 委員長 箆橋 美久

去る11月1日から3日までの3日間名古屋市栄・久屋大通公園（広小路～名古屋テレビ塔）において「第2回ワールド・フード+ふれ愛フェスタ」を開催しました。これは、一般市民を巻き込んだ fundraising(活動資金集め)であり、各種奉仕活動に提供することを目的として、地区委員会をベースに実行委員会を立ち上げ、10ヶ月近く話し合いを重ね、皆様に楽しんで頂けるようにとメンバー一丸となって進めて参りました。

今年度地区方針である「集まろう、語ろう、楽しもう」のスローガンのもと、当地区84クラブの皆さんの暖かいご支援、ご協力を頂き、無事、開催することが出来ました。

初日のオープニング時は、雨の降りしきる中ではございましたが、パストガバナーはじめ地区役員、クラブ会長、クラブ役員の方々の多くの皆様の御参加により盛大に開催することが出来ました。

近藤ガバナーからも開催趣旨を述べて頂いた後、後援団体代表として、中国領事、ブラジル副領事、ペルー副領事の方々にご挨拶を頂き、その後イベントの開催目的、趣旨等の説明の後、開催の宣言がされセレモニーを終えることが出来ました。その後、雨天にも関わらずロータリアンはじめ一般市民の方々大勢のご来場者で賑わい、イベントの門出を皆んなで祝うことが出来、さらに「ロータリーを知っていただく」良き機会となったと思います。実行委員会を代表いたしまして、心より厚く御礼申し上げます。



オープニングご挨拶

今回のイベント開催期間を「ロータリーデー」として指定され、当地区ロータリアンが「ロータリーの良さを再認識する日」であり、地域の一般市民の方々に対し「感謝を表す日」と考え、これらにふさわしいイベントにするため、地区内クラブ、地区各委員会の協力を得ながら、楽しい交流の場を作ろうとの思いで努力して参りました。

特に、ロータリアンと一般市民との交流を通じて、ロータリーの活動を知って頂くと共に、楽しさを肌で感じて頂き、一人でも多くの方がロータリーに対し関心を持って頂く良き機会であって欲しいと主催者として力が入りました。



# ガバナー活動報告

この期間の最終日3日目を「ジャパン・ロータリーデー in 愛知」として、北RI理事、田中作次元RI会長、各シニアリーダーはじめ、全国33地区のガバナー、地区役員の方総勢80数名の方にご参加を頂き、日本で初めての全国レベルのロータリーデーを盛大に開催することができ、また、みんなでお祝いすることが出来ましたこと大変うれしく思います。今回のイベントに花を添えて頂き、感謝いたす次第でございます。



北RI理事ご挨拶



田中作次元RI会長ご挨拶

ところで、今回のイベントの大きな目的は、前述のとおりロータリーを知って頂くことはもとより、次のとおり大きく分けますと、3つございます。一つは、海外支援事業として、カンボジアの貧しい村、特に、子供さん達に対しきれいで安心な水の供給施設の提供、また、識字率の向上として、教材の提供を行います。これらは、地区国際奉仕委員会が担当させて頂き、2015年4月頃に現地へ赴き支援して参ります。

2つ目は、ポリオ（小児麻痺）をこの地球上より無くすることです。

ロータリーは、長年この事業に取り組んで参りました。あと少しで目的を達成いたします。世界で地域の方々と一緒に現在も取り組んでおり、これからも、目標に向かって取り組んで参ります。今回のイベントは、一般市民の方が参加して頂くきっかけ作りです。開催期間中積極的な参加をとの思いから参加



エンドポリオ（強調）パネル



RI元会長を囲んで

写真、寄付金を募り一般の方々との参加型奉仕活動のひとつとして、実施させて頂きました。寄付金総額は、527,680円となり、多くの方の関心が高まったと思います。地区ロータリー財団委員会（ポリオ委員会）にて担当しました。

3つ目は、みなさまにロータリーを知っていただくこと（ロータリーの公共イメージ・認知度の向上）特に、一般市民の方へのアナウンスとして下記のことを挙げアピール致しました。

1. ロータリーは、みなさん方のためにあり、常にみなさんのためになる存在で有りたいとの思いを持ち活動しています。
2. これからのロータリーは、地域、海外の困っている皆さんのための奉仕団体であることをロータリアン一人ひとり再認識し、「より良い社会へ」との目標に向かって活動しています。
3. ロータリーの奉仕活動は、皆さんのために「地域、海外」において地道な活動を行っています。
4. 愛知県内のクラブ数は、84クラブ存在し、各地元で奉仕活動を行っています。クラブの活動の様子をパネルにて紹介させて頂きました。

この担当委員会は、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会が行ないました。





奉仕活動紹介パネル（クラブ別）

このような活動の紹介パネルを制作し、会場内に設置したり、ステージ出演者よりアナウンスにてロータリー活動の紹介を行いました。これらのことから、ロータリー活動の認識度が高まり、ロータリーの魅力度が向上することにより、地域社会での存在感が今までより一層高まってくると思っています。将来の会員増強に繋げるという好循環を生み出したいと思います。

また、名城小学校とカンボジアの小学校との作文・絵をパネルにて紹介すると同時に、先生、生徒一緒に手作りの募金箱で募金を集める活動を行い、集められたお金はカンボジアの子供たちの教材購入に使われます。

開催初日には、全国の自治体が進めている「子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー」が名古屋市、名古屋市児童養護連絡協議会主催で開催されました。このキャンペーンに協力することができましたことは今回のイベントの意義に沿った事であり、キャンペーンに参加された多くの市民の方々がロータリーの存在を感じて頂けたと信じています。

このように、初日は悪天候にも関わらず予想をしのぐ大勢の来場者がありました。

2日目は、前日と違い朝から雨もやみ、初日の鬱憤を晴らすごとく、多くの方が来場され、会場がごった返し会場内が人で埋め尽くされ、賑わいがあり、熱気さえ感じられるぐらいの人出でありました。ひとまず、安堵致しました。これからロータリーに入会を予定されている方、ロータリーに関心を持っている方、全くロータリーを知らない方、他地区のロータリアン等さまざまの方が来場され、賑やかで、明るく、楽しい国際的な雰囲気を各々楽しまれ、良きおもてなしもできたかと思えます。

このような中で一部の来場者のご意見の中から、「ロータリーは、お金持ちの社長さん達の集まりの団体であり、どんな活動を行っているか判らなかったが、今日ここに来ていろいろ見せて頂き、今まで抱いていたイメージが変わった」とのご意見、また、国内の社会奉仕活動、海外への奉仕活動を行なっているなんて、全く知らなかった。特に、感心したのは、国内、海外問わず若者たちに「人づくりの支援」を行っていることを知らなかった。今日、ここへ来て初めてこんな活動をしていることを知りましたとのこと。この方は、早速、エンドポリオへの寄付をされました。



飲食店大盛況

一方、チケットを購入しようと来場された方に、一部寄付金（1枚当たり400円）をとの説明の後に、今までの寄付金は、「どのように使われているのか判らない」からと言い残して帰られるケースもありました。寄付金は、用途をはっきりさせること、熱意ある説明を行うことで、理解され奉仕活動資金に協力して頂けるようになると思います。



# ガバナー活動報告

この様に、一般の方々が、ロータリー活動に対し参加して頂けたこと、少しでも知って頂けたことは、今回の目的の大きな成果であると確信いたしており、大変有意義な活動であったと思います。

また、当日会場でのボランティアでのご協力を頂きました青少年奉仕委員会、インターアクト委員会、ローターアクト委員会、青少年交換委員会、RYLA委員会、特に、インターアクトクラブ、ローターアクトクラブの諸君のお蔭でごみはすぐに収集され、分別されましたので、開催期間中、清潔な会場となりました。他のイベントでは、私たちの様な組織的な活動が行われず、会場内が整理されてなく、ごみが散乱し清潔感に乏しいイベントが多く見受けられます。このようなことがないように会場整理には気を遣い準備して参りました。また、豊橋北ロータリークラブ発祥の「530運動」の推進が来場者の参加を促し、みんなで合言葉として活動して参りました。その結果、これらの活動に触発されるごとく、来場者もご協力頂いた結果として、会場内が美しい、気持ちの良い、ロータリーらしい雰囲気を作りあげることができました。

今回の事業規模は、チケット販売枚数 7,500 枚、企業協賛数 123 社、飲食出店数 22 業者、物販出店数 35 業者となりました。特に、飲食・物販業者の方にイベントの趣旨をご理解、ご協力頂き素晴らしい結果となり 3 日間通じての来場者は、6 万人の規模に達し、予想通りの盛大なるイベントとなりました。来賓の方々からは、大変すばらしい、今後開催されるイベントのモデルケースであり、これからも先駆者として継続して欲しい。第 2760 地区の底力をみたとの賞賛の言葉を頂きました。

今回のイベントは、地区実行委員会が第 2760 地区事業として推進して参りました。実行委員会の構成は、近藤ガバナーを大会会長、加藤ガバナーエレクトを大会副会長として、地区委員会（広報委員会、職業奉仕委員会、国際奉仕委員会、社会奉仕委員会、青少年奉仕委員会、ロータリー財団委員会、米山奨学委員会、IT委員会及び各小委員会（インターアクト委員会、ローターアクト委員会、RYLA委員会、青少年交換委員会、職業研修チーム委員会）をメンバーとして活動して参りました。

この事業の成功の裏には、当地区 84 ロータリークラブ全会員、地区役員（パストガバナー、地区幹事、ガバナー補佐）、地区委員会のご支援、ご協力があったることと心より感謝する次第でございます。ここに、成功裏に終了致しましたことご報告申し上げます。本当に多大なるご支援、ご協力をいただきありがとうございました。



コール・ロータリー名古屋合唱団



グランドフィナーレご挨拶





## 名古屋ロータリークラブ

開催日 2014年10月7日(火)

報告者 幹事 小嶋 純二郎

10月7日(火)、近藤ガバナー・高須地区幹事をお迎えし、懇談会並びに例会を開催いたしました。懇談会では、ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会(希望の風奨学金)基金の経緯についてご教示いただき、また11月1・2・3日に開催される地区の主要行事の一つでもあるWFF(ワールドフード+ふれ愛フェスタ)が、「地区ロータリーデー」として、最終日は特別に「日本のロータリーの日」と位置づけられたこと、などのお話をお伺いし、意見交換をさせていただきました。

例会卓話では、近藤ガバナーご自身が、2年半前にガバナーノミニーに決定されて以来ご出席された、さまざまなセミナーや国際協議会などの実体験をお話されました。なかでもゲイリーC.K. ホアンRI会長エレクトの講演におけるテーマ「Light Up Rotary」の、花火による演出の話は、臨場感に溢れるものでありました。そして、いろいろな職種のさまざまな会員の「心に残るロータリー体験」の共有が有意義であること、会員にとっても社会にとっても、満足していただける有益なロータリー活動を行ってきたい旨のお話をされました。大変充実した例会となり、短い時間ではありましたが、近藤雄亮ガバナーの温かい人柄にも触れることができました。

誠にありがとうございました。



## 名古屋南ロータリークラブ

開催日 2014年10月8日(水)

報告者 幹事 後藤 正憲

10月8日に近藤ガバナーと高須地区幹事の訪問を受け懇談会と例会卓話をいただきました。当クラブとしては会長、副会長、幹事、副幹事で懇談会に臨みました。

### 「懇談会」

近藤ガバナーより地区運営の重要事項として次の2点をご教示いただきました。

- 1、「希望の風奨学金」創設の経緯と今後も継続する強い意志を伺いました。
- 2、「WFF」を全国の地区モデルとし、他地区より80数名のガバナー・地区幹事の出席をいただくので、是非とも当クラブからも出来るだけ多くの会員の方に会場へ足を運んでほしいとの要望があった。

### 「例会卓話」

Gary Huang RI会長の挙げられた「道端で立ち往生する3人をどのように救うか？」のエピソードから始まりました。ロータリー草創のころから「インターアクト」「ロータアクト」創設、またロータリーソング「奉仕の理想」「我らの生業」の云われなど幅広いロータリー談義に会員一同静粛に耳を傾けました。

最後にロータリーの本質は「皆に感動を与え、それを皆で共有すること」だと締めくくられました。大変有意義な例会であったことを報告いたします。





# ガバナー公式訪問報告

## 一宮中央ロータリークラブ

開催日 2014年10月8日(水)

報告者 会長 松岡 正浩

10月8日(水) 近藤雄亮ガバナー、高須洋志地区幹事をお迎えして懇談会ならびに例会を開催致しました。懇談会では、まず当クラブの行なったロータリーデーの催しなど今年度の事業計画を報告させていただきました。近藤ガバナーより WFF の協力依頼、見るべきところのお話をいただきました。例会では、ゲイリー C.K. ホアン RI 会長の方針・強調事項、またエピソードなどのお話をいただき大変充実した有意義な例会となりました。心より感謝申し上げます。



## 一宮ロータリークラブ

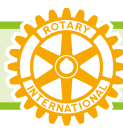
開催日 2014年10月9日(木)

報告者 会長 磯部 茂

10月9日(木) 近藤雄亮ガバナー、高須洋志地区幹事のご来訪を得てガバナー公式訪問例会が開催されました。例会に先だつての懇談会では、当クラブのこの1年目指すところの説明と地区の重点事業についての説明のあと双方綺麗譚のない意見の交換を行えました。ガバナーのロータリーに対する熱い想いが充分伝わってきました。例会においてはガバナー補佐輩出のお礼と RYLA のホストクラブであることへのねぎらいの言葉もいただき、改めてその優しいお人柄に惹かれ、なんとしても成功させようとの意を強くしました。卓話の結びにロータリーで最も大切なものは「感動」だと言われたのが印象に残りました。







## 蒲郡ロータリークラブ

開催日 2014年10月10日(金)

報告者 幹事 鈴木 仁志

10月10日(金)近藤ガバナー、高須地区幹事をお迎えし、会長幹事との懇談会ならびに例会を開催しました。懇親会の中では、大岩会長より当クラブの現状と問題点の報告があり、ガバナーからはワールドフード+ふれ愛フェスタへの協力と希望の風への継続的な取り組みについての お話がありました。

例会の卓話では、近藤ガバナーとゲイリー C.K. ホアン現会長との逸話を具体的に聞かせていただき、ホアン会長が掲げるRIのテーマ “LIGHT UP ROTARY” (ロータリーに輝きを) の意味をあらためて理解することができました。また、HAND、HEAD、HEARTの3つのHの話も大変参考になりました。

常に穏やかな笑顔で対応される近藤ガバナーとの時間は楽しく過ごすことができ、大変充実した例会となりました。感謝申し上げます。



## 豊橋北ロータリークラブ

開催日 2014年10月14日(火)

報告者 幹事 加藤 卓秀

平成26年10月14日(火) 近藤雄亮ガバナーは豊橋北ロータリークラブの例会に出席され、下記テーマについて大変印象深いスピーチをされた。

### 1、WFF開催の目的について

1. イベント参加者に「ロータリークラブ」とはどんな団体か、どんな活動をしているのかを知っていただくこと
2. イベント参加者に、イベントを楽しみながら、ポリオ撲滅等の社会奉仕活動に必要とするお金を寄付していただくこと

### 2、「ゴミゼロ」活動について

1. 開催期間中、会場を「東京ディズニーランド」並みにきれいな状態に保ちたい

### 3、ロータリークラブの活性化について

1. ロータリークラブを「会員一人ひとりが感動を味わえる」場所にしてほしい
2. ロータリークラブの活動内容について、WFFのイベント活動及びインターネット等の媒体を通じて、積極的に周知するようにしてほしい



## 豊川ロータリークラブ

開催日 2014年10月15日(水)

報告者 幹事 伊藤 文則

10月15日の例会には、近藤ガバナーと高須地区幹事のご訪問をいただき誠にありがとうございました。

例会に先立っての会長幹事懇談会では、私どものクラブの現状・歴史をよく御理解いただいた上で、我々の質問に対する確かなご指導を頂戴し、和やかな中にも有意義な時間となりました。

例会ではRI会長方針、ガバナーのお考えを国際協議会、国際大会での体験を通じてわかりやすくご説明いただきました。私が今回感じたのは、ガバナーはひとりひとりの会員、ひとつひとつのクラブを基本と捉え大変大切にしている、ということでした。そしてインターアクトクラブを地区内で最初に設立した当クラブの先人達の思いを我々に伝えてくださった、そんな思いです。襟を正して向かい合うべきと深く感謝いたします。そして地区WFFには、参加されたすべての方と感動をシェアできるよう伺いたいと思います。



## 豊田ロータリークラブ

開催日 2014年10月16日(木)

報告者 幹事 稲垣 利彦

平成26年10月16日(木)に、近藤雄亮ガバナー、高須洋志地区幹事をお迎えして開催されました。

例会前の会長幹事懇談会では、今年度の会長方針や活動計画、現在の課題などをお聞きいただき、近藤ガバナーよりご意見や適切なアドバイスをいただきました。

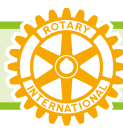
例会には、当クラブで3年間お世話をさせていただきました、2012年度米山奨学生 岳 博涵さんが、9月に博士号を修得した報告に来訪され、近藤ガバナーから、日本と母国との架け橋になるよう活躍して頂きたいとお言葉をいただきました。

また、ロータリーの歴史等を分かりやすく説明いただき、和やかな雰囲気のうちにあっという間に終了した例会でした。

近藤ガバナー、高須地区幹事のご来訪に感謝申し上げますと共に、ますますのご活躍を心より祈念し報告とさせていただきます。







## 安城ロータリークラブ

開催日 2014年10月17日(金)

報告者 幹事 横山 真喜男

10月17日、近藤雄亮ガバナー、高須洋志地区幹事をお迎えしての公式訪問を開催致しました。黒田勝基ガバナー補佐より「畏まらずにガバナーと地区幹事をお迎えして下さい。」と言葉を掛けて頂いておりましたので例年のような体裁を整えず、普段の例会様式での卓話をお願いしました。懇談会において、「希望の風奨学金」「地区ロータリーデー」の説明と協力へのお礼をして頂きました。当クラブからは、25日開催の安城ロータリーデーのPRをさせて頂きました。

卓話では、とても興味深い「選択肢」のお話を拝聴しました。詳しくは、当クラブのホームページから第2797回例会週報をご覧ください。短い時間ではありましたが、有意義な公式訪問になりました事、感謝いたします。ありがとうございました。



## 西尾ロータリークラブ

開催日 2014年10月21日(火)

報告者 会長 杉田 明弘

近藤ガバナーに於かれましては遠路「西尾ロータリークラブ」へお越しいただきまして有難うございます。

当日は2時間余の時間予定をいたしました充実した指導会議と例会行事で十二分な卓話をいただけなかったのが反省でございます。

しかしながら、活性ある西尾クラブ活動はご理解いただけたことと思います、新入会員が当日の2名を含め7名がこの1年間で新規入会して頂いたこと、毎年支援している東北被災中学校への活動の報告が当地福地中学校の生徒4名より報告があったこと、当クラブ法人より米山奨学委員会より感謝状授与式などその他多くの活動状況を紹介できました。

さて、ガバナーより「希望の風奨学支援」をはじめ、お金の使途が明確で有効性のある資金援助の紹介があり早速当クラブとしてもこのような支援活動には積極的に参加してまいりたいと思います。

卓話では、「パラダイムシフト」についての紹介があり時事変化し、今までの常識が非常識になる環境の変化に我々がいかに対応すべきかを長い歴史の中での実例の数々を以ってご指導して頂きました。





## 三河安城ロータリークラブ

開催日 2014年10月22日(水)

報告者 幹事 安藤 毅

まず四役を交えた懇談会で意見・情報交換を行い、当クラブの概要・状況をお知り頂きました。

卓話の中で近藤ガバナーは、

- ・ガバナーを拝命してご自身が出来た事は何だろうと考え、84クラブ訪問を決心された事。
- ・クラブ訪問の道中話やガバナーとしての活動事例のご紹介。
- ・RCの利他の精神の大切さ。
- ・目先の損得に捕らわれず、本質を見つめ長いスパンで目的を果たす事。
- ・「慈愛」の精神を以ってRC活動をする。
- ・何を奉仕することが本当に最終的に相手の為になるのかを考える。
- ・目標設定し達成感と感動を味わいましょう。
- ・自分達が正しいと信じた事は一致団結協力し、自信と信念をもって行動すべきである。

人生や経験を踏まえた素晴らしいお話を聞かせて頂きました。ご来訪を心より感謝し、お礼申し上げます。



## 名古屋西ロータリークラブ

開催日 2014年10月23日(木)

報告者 幹事 野間 義正

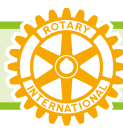
10月23日(木) 近藤ガバナー、高須地区幹事を、お迎えしガバナー公式訪問を開催致しました。

例会前に懇談会が行われ、近藤ガバナーより当クラブ所属の宮田ガバナー補佐に対しての労い、「希望の風プロジェクト」、「WFF」に対しての御礼の言葉を頂きました。また近藤ガバナー、高須地区幹事よりご指導を頂き活発な意見交換の場となりました。

例会でのガバナー講話では、会員増強について、「むやみに人数を増やすのではなく、どのような対策を立てれば強靱な組織になりうるのか考える時期であり、ロータリーアンが力を合わせて楽しい例会になれば、おのずと人は集まってくる。とにかく楽しいクラブにして欲しい」とのご意見を拝聴した。







## 尾西ロータリークラブ

開催日 2014年10月27日(月)

報告者 幹事 森新

2014年10月27日曜日 近藤雄亮ガバナー 高須洋志地区幹事にご訪問頂き、午前11時30分より午後2時10分までの長時間に渡り、会長・幹事懇談会を始め、例会での卓話、その後の自由討論と有意義な例会となりました事、大変感謝しております。

懇談会では、地区の事情を踏まえて近藤ガバナーよりお話を伺い、当クラブの現状を説明し、地区との考え方の相違等を懇談致しました。意見の違いはあれども、根本的なロータリー精神等については同じであることを確認出来ました。例会にても11月3日のジャパンロータリーデーの参加の他、RI会長ゲイリー C.K. ホアン会長の3つのH シェイクハンド・ヘッド・ハート等の話を混じえて大変意義深い卓話を頂き、ロータリーへの理解が深まったのではないかと考えております。例会後の自由討論では、親睦等について会員からの話も混じえて、例会・親睦等または家族の理解の必要性等を種々御指導頂き、地区との連なりを確認させて頂きました。近藤ガバナー、高須地区幹事には、遠路、尾張の西端までご訪問頂き、誠にありがとうございました。



## 犬山ロータリークラブ

開催日 2014年10月28日(火)

報告者 幹事 田中茂生

10月28日火曜日に近藤雄亮ガバナー、高須洋志地区幹事をお招きして、会長幹事懇談会の後、例会において卓話を拝聴しました。

近藤会長から我が犬山ロータリーの本年度の活動の方針の中で相談させていただいた事、即ち会員が活動の中で毎年マンネリ化している事業を見直し、各委員長の本トムアップの中からロータリー活動に参加してもらう予定で「色々な活動をこれまで以上に実施しており、少しやり過ぎているかな？」という思いを伝えました。それに対して、ガバナーは卓話の中で、本当にわかりやすく我々執行部だけでなく、全会員に活動の意義を説いていただきました。ガバナーは童話のお話を通して、親睦、ゆとりある活動の大切さ、ロータリー活動は感動であり、自分が感じた感動を皆でシェアすることが本筋であること、本年度の近藤会長の思いを「皆さんに目標を与え、皆さんは目標を達成するために努力します。その間に、いい人との出会いがあり、いい事との出会いもあり、目標を達成した時には達成感が湧いてきます。それが感動で、その感動を皆でシェアしている。だから犬山ロータリークラブは本年度の地区方針の「ロータリーを皆で楽しもう」に位置していると、私はお話の中でそう感じました」と話されました。

短い時間でしたが大変勉強になるお話を賜り、感謝申し上げ報告とさせていただきます。





## 瀬戸ロータリークラブ

開催日 2014年10月29日(水)

報告者 幹事 刑部 祐介

瀬戸ロータリークラブのホームグラウンドである瀬戸商工会議所大ホールに近藤ガバナー、高須地区幹事をお迎えしてガバナー公式訪問例会を開催いたしました。例会に先立ち開催されました会長幹事懇談会では、野田正治会長より9月27日(土)、28日(日)に実施いたしました創立55周年記念事業「瀬戸ロータリーデー」ポリオプラスチャリティーイベントについて詳しく説明させていただきました。チャリティーイベントで集めた募金、収益金をロータリー財団ポリオプラス基金に寄贈したところ、例会の中で、共催したさくらんぼ育成会RCCと共に感謝状を贈呈していただきました。卓話では、RI方針、ガバナー方針を自らの言葉で伝えていただき、近藤ガバナーの人柄が伝わるとも温かなガバナー公式訪問例会となりました。ありがとうございました。



## 名古屋北ロータリークラブ

開催日 2014年10月31日(金)

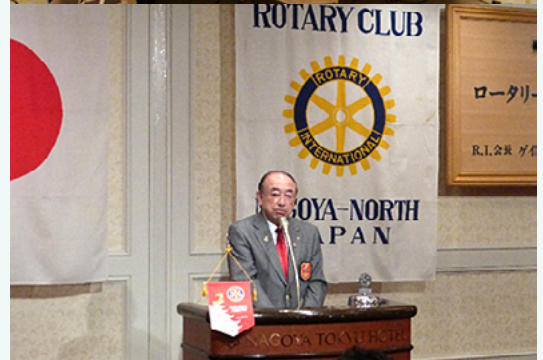
報告者 幹事 矢形 修己

10月31日 近藤ガバナー公式訪問が名古屋東急ホテルで実施されました。

例会前の11時30分から12時10分まで会長幹事 懇談会があり、その席上、田中会長より今年度クラブテーマ「深めよう!友情の絆 広めよう!ロータリーの心」について説明させていただきました。

例会の充実、研修会の実施、友の会活性化、親睦会の充実、会員増強・退会防止、子クラブの支援などを重視、財団補助金を利用しての自殺防止啓蒙活動や慈友学園の子どもたちとの親睦などに多くのメンバーが参加。奉仕活動を通じて会員に理解をいただいた事にガバナーも満足をしていただいたと思います。

例会での近藤ガバナーからは変わり行く社会情勢の中で対応できるクラブ活動、社会奉仕活動を通じ感動を得ることに根源をおく、新会員また会員の地域にて顧客満足度が出来ているのか、今一度原点に返り存在価値を確認して充実したクラブ活動を期待したい事を重点にお話をいただきました。







## RID2750・2760 財団委員会 情報交換会議報告

地区ロータリー財団委員会 委員長 鈴木 文勝

RID2750 地区（東京の半分・グアム・ミクロネシア 95クラブ 約 4700 名）との情報交換会が、去る 10 月 16 日木曜日 16:30 より当地区ガバナー事務所（豊島ビル）会議室で開催されました。

2750 地区からは、私と同じ苗字の鈴木義明ロータリー財団委員長を筆頭に財団委員会のメンバー 15 名が参加されました。我が地区は、近藤雄亮ガバナーをはじめ、加藤陽一ガバナーエレクト、江崎柳節 RRFC、深谷友尋 ARRFC、松野一彦ガバナー補佐、高須洋志地区幹事、ほか財団関係者および財団委員会のメンバー含めて 36 名が出席し、総勢 51 名で会議室が溢れんばかりの熱気の中開催することが出来ました。出席して頂いた皆様には大変感謝申し上げます。

2750 地区とは毎年東京で開催している地域財団セミナーでセミナー終了後、お茶や食事をしながら懇談意見交換をしつつ交流をはかって参りましたが、今年 6 月に 2750 地区の財団委員長から 2760 地区に訪問しもっと時間を取って情報交換をしようと提案がありました。一時は、先方のガバナーエレクトの急逝により中止になりましたが、両地区の熱心な思いの中、あらためて両地区合同の情報交換会議の開催が実現する運びとなりました。

情報交換会議の内容は、両地区の財団の活動方針、両地区の特有の状況説明があり、各小委員会の活動状況報告がありました。両地区はクラブ数や会員数、活発な活動性など非常に類似しています。しかし、特徴的な所として、2750 地区は財団奨学生や平和フェローおよび財団学友の活動が非常に活発です。一方、当 2760 地区は「未来の夢計画」のパイロット地区としていち早く新しいシステムを導入して財団全般において他地区の先陣を切った活発な活動を誇っております。中でも職業研修チーム（VTT）委員会が行っているプロジェクトは VTT プログラムが開始して以来 4 年連続で成功をおさめており他に例が無い成果を上げています。かように両地区の活動の情報交換主体の会議を終え、聞き足りない部分は、次の懇親食事会や二次会では更に活発な情報交換が行われました。他地区との情報交換がこのような形で実施出来た事は、おそらく今までに例が無いことと思います。大変意義深い会でした。11 月には東京で財団地域セミナーが開催されますが、終了後東京で懇親交流食事会を行う予定になっています。これからも 2750 地区と 2760 地区の交流を図って行きたいと思っております。





## 米山カウンセラー研修会

地区米山奨学委員会 委員長 伊藤 敦夫



2014年10月23日にキャスルプラザにて、近藤ガバナー、地区高須幹事、米山カウンセラーと米山委員長を交えて開会、近藤ガバナー、米山委員長の挨拶の後、杉浦副委員長から事前のアンケート調査報告の結果を報告しました。

そして今年の卓話をネパール出身の米山学友カドカ・シバラム君の『カウンセラーと世話クラブの重要性』について卓話を頂きました。



た。ネパールの事情や米山奨学金を受けて人生の大きな分岐点になった、これからネパールと日本の懸け橋になれる自信になったことや、将来ネパールを変えるために政治家を目指すこと。ロータリー米山やロータリオンへの感謝の気持ちなどを我々に伝えてくれました。

後半は奨学生を受け入れ半年が経ち、各クラブにおける奨学生の対応や意見交換をグループディスカッションを行いました。今年のグループディスカッションのテーマは『奨学生の良き理解者になれるか』と題して各グループにて討議、そして各グループへは近藤ガバナー、高須幹事、関谷副幹事、堀地区スタッフさんも加わり、1時間近く意見交換を行いました。

各クラブのカラーに合った奨学生への対応が必要に思う。カウンセラーを中心に、カウンセラーのみでなくて、クラブ全体で奨学生に接して、見つめていくことが必要に思う。

各奨学生のお国柄からくる習慣、考え方を尊重してあげるべきだと思うが、各クラブの在り方、思想も説明して、奨学生に理解を求めることも必要だと思う等の意見が各クラブから出たました。皆様から頂いた意見や要望は今後地区米山運営に対し活用して行きたいと思います。







## 地区青少年交換プログラム『ホストファミリー懇談会』

地区青少年交換委員会 委員長 岡田 雅隆

10月25日(土)午後4時より、本年度のホストファミリー懇談会を南山大学職員専用レストランをお借りして開催致しました。参加者は、今年青少年交換留学を実施して頂いた8クラブの青少年奉仕委員長さん、カウンセラーの皆さん、実際に交換留学で来日してきた外国人留学生をホームステイして面倒をみて頂いているホストファミリーの皆さん、留学生が通っている高等学校の先生方で30名ほどの方々と、我々の委員会メンバーを合わせて40名ほどにて実施致しました。

今年度の交換留学にて来日した学生は、アメリカ、カナダ、フランス、フィンランド、スイスの5カ国から8名の学生が来日してきており、8月末にセントレアに到着し、約2ヶ月が過ぎた段階でこのホストファミリー懇談会を開催致しました。

昨年からはじめたこの催しも今年で2回目となります。2月にも三者懇談会なる同じような内容の催しを行いますが、主旨は来日してきた外国人留学生たちに『いかに快適に日本での1年間の留學生活を送れるか』を関係者全員で話し合い、そろそろ日本にも慣れてきて自我が出てき始めるこの時期に、日常生活全般をみていただいているホストファミリー、学校生活を通じての学生たちの姿など、彼らに最も身近にいる方々から率直な彼らに対する意見をいただき、仮に不適切であると思われる事があれば、委員会として本人に是正を求めるためのヒアリングや必要とあらば彼らの母国の青少年交換委員会に連絡を取る体制も備えていますが、お陰様で、本年度来日の学生たちについては大きな問題は無いように思われます。

交換留学にてやってきた学生たちは日本を希望して来てくれました。

彼らにできるかぎり、日本を愛知を良くも悪くもありのまま堪能してもらい、日本のファンになって帰って行ってもらえるように、残り10ヶ月のホストの皆さんと努力していきたいと思っています。





## WFF、東日本復興支援ブース出展の報告

地区被災高校生支援委員会 委員長 本多 満

東日本震災復興支援事業として、WFFに11月2-3日出展しました。

事業内容は復興支援として被災地に出向いて観光し、被災地の状況を知ること、また観光して現地で消費活動をする事、また現地の産物を購入し消費すること。これらのことを実行することで被災地の復興支援につながると考え出展、実施しました。

2日間に渡り観光パンフ3000部を仙台青葉RC、岩手二戸RCのロータリアンとともに市民に配布し観光を呼びかけました。また大盛況でした、産地名産品の抽選会は千田、小野寺パストガバナーのサポートで実施することができました。2日間で2000名以上の方に参加いただき行列が続きました。北RI理事、近藤ガバナー他大勢のロータリアンにも、抽選いただきました。抽選会は長い列ができましたが、名古屋名城RAC谷口会長はじめ4名の強力な助人により乗り切ることができました。

2520地区の2RCメンバーの感想はWFFにロータリアンが楽しんで参加していること、市民の大勢の参加に感動しました。また仙台に帰ってこの感動を報告しますと語っておられました。少し残念なことは、被災地の復興状況のPRビデオ、復興支援事業のPRがかすんでしまったことです。そして、2日夜の懇談会は2地区ロータリーメンバーに『ロータリーの友』二神編集長(東京築地RC)の飛び込み参加もあり、大勢で楽しく、また美味しい懇談で盛り上がりました。

当委員会メンバーと名古屋東RCのメンバーの協力でWFFイベントは充実感を持って終了することができました。少しは震災復興に役に立ったのでは?と思っています。





## 米山奨学生・学友合同秋季研修会

地区米山奨学委員会 委員長 伊藤 敦夫

11月8日(土) 米山奨学生・学友合同秋季研修会を開催。奨学生・学友・ロータリアン総勢80名の参加、今年度は日本の伝統・文化と言うことで伊勢神宮(外宮、内宮)参拝、とおかげ横丁散策、初めて伊勢神宮に行く奨学生も多くいました。行きのバスの中では地区米山委員がまず伊勢神宮について、歴史などを約2時間ほど説明、伊勢神宮についての研修を行いました。



まず外宮へ、近年建設された遷宮館で伊勢神宮資料と外宮の正殿を横から見た模型(実物大で釘を一本も使わず組合せだけで作成)を見学後、外宮へ参拝、昼食後、いよいよ内宮への参拝です。この参拝には参加者全員で一緒に参拝できるように、特別参拝を行いました、垣内参拝と呼ばれ、地区委員会メンバーが垣内に入り、さらに代表者2名が中央へと進み、参加者全員がそろって感謝し、参拝を行いました。奨学生・学友にはとても良い経験が出来たと思います。この後は伊勢神宮内、おかげ横丁などを自由に散策。 帰りのバスではビンゴゲームなどを行なうなど親睦をさらに深めたと思います。







## 東日本大震災プロジェクト委員会・名古屋栄ロータリークラブ合同公開例会 「3.11・・・あの日を忘れない！」

東日本大震災プロジェクト委員会 副委員長 吉原 孝彦

平成 26 年 11 月 17 日、名古屋栄ロータリークラブの多大なご協力により、地区補助金事業の合同公開例会を開催できる運びになりました。近藤ガバナー、斎藤・田中パストガバナーを始めとする地区役員の方々、地区内のロータリアンの方々、名古屋栄 RC のメンバーの方々、そして一般の方も含めて約 130 名の参加を頂きました。

鈴木元弘委員長から東日本大震災の記憶を風化させてはならない旨の挨拶をさせて頂き講演会はスタートしました。

第一部は気仙沼において実際に津波に流されながらも九死に一生を得た菊池親子の話「今、私は生きている！ 3.11 の体験から」を聞きました。最初はたかが地震、小さな津波と高をくくっていたのが急にこれまでに経験したこともない、とてつもない大きな津波と分かり、その中でいかに助かろうとしたか、いかに必死に生きようとしたかを克明にお話頂きました。

教訓として話されたのは、避難の際には自動車は使うべきではない。避難場所はいつも事前に確認していくこと、でした。

最後に菊池さんの孫琉美菜（るみな）ちゃんの作文を聞きました。彼女は祖母と祖父と一緒にいましたが、彼女だけ助かり、その時に思ったことを素直に話されました。

第二部は 2520 地区（宮城県、岩手県複合地区）で震災直後の復興支援特別委員会副委員長をされた仙台 RC 元会長常盤峻也様の講演「初動体制…その時、ロータリアンはどう行動したか？」を聞きました。震災でメンバーの安否も確認できない、また当然例会も開催できない中でも支援の輪が大きくなり、組織とか預金口座とか受け皿の作成に苦労され、逆に地区内 RC からはいろんな支援要請情報が来た中で援助基準を設けてしっかりと分配されました。ロータリアンも被災者ということでロータリアンにも初めて援助金を交付できるようにしました。ただ、ロータリアンも人の子、地縁、血縁、地位、名誉に頼って行動する方の話とか、聞きたくないような生々しいお話も聞きました。

最後に、この公開例会は私たち東日本大震災プロジェクト委員会最終年度の事業であり、集大成の一環でもあります。この支援の輪を絶やすことなく、風化させることの無いよう、また来るであろう東南海沖地震への備えの一助となれば幸いです。

名古屋栄ロータリークラブ立松会長、山田幹事、2760 地区役員の皆様、ご協力本当にありがとうございました。







## 一宮RC 創立65周年記念例会開催

会長 磯部 茂

11月6日（木）一宮商工会議所3Fホールにおいて創立65周年記念例会を開催いたしました。当日はご来賓として谷一夫一宮市長をお迎えし、米山記念奨学生の盧銀美さんとご主人の高榮徳さんもお招きして夜間例会にて開催いたしました。

谷市長は当クラブの元会員であり、内輪だけのアットホームな雰囲気にも包まれた記念例会となりました。

一宮ロータリークラブは1949年11月7日に創立され、同年12月31日にRIより戦後日本では第1号となるチャーター番号7410番で認証されました。本年度この節目の年を迎えるにあたり「創始の精神とロータリーの原点を見つめなおそう」を方針として掲げ、3回のシリーズで開催した研修例会や、これまでの諸事業の中間点での集大成としての例会でもありました。

また、この日は新入会員も1名入会し、御本人にとっては新しい門出となる記念すべき日ともなりました。

乾杯の後、カルテットF. A. E. による弦楽4重奏の演奏を聴きながらの食事となり、厳かな中にも和気あいあいの雰囲気にも包まれ、それぞれのテーブルで話が弾み、ロータリーで最も大切な例会への出席という基本が体験していただけたのではと自負しています。

最後に全員で「手に手つないで」を合唱し閉会となりました。



# ロータリーコーディネーター ニュース -12月号-

## 公共イメージ向上のため先進地区に学ぼう

第3ゾーン RPIC 岩永信昭    APRIC 伊藤文利    ARPIC 高島凱夫



### コーディネーターニュースとは

今年度8月号のガバナー月信から毎月コーディネーターニュースというコーナーが掲載されている事にお気づきの方も多くおられるかと思えます。

これは戦略計画に則ってRI会長から任命されたロータリーコーディネーター(RC)及び補佐(ARC)、ロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)と同補佐(ARPIC)が持ち回りで最新の情報や担当分野の解説をお示しし、全国のロータリアンの皆様に戦略計画推進の理解の一助となるよう企画されました。これに北清治、杉谷卓紀両RI

理事のご支援により各地区ガバナーにご協力を頂き掲載されているものです。

### 先進地区に学ぼう

公共イメージ向上と言われても一体何を行えば良いのか頭を悩ませる事ばかりかと思えます。さる11月1～3日第2760地区は昨年度に引き続き、「ワールドフード+ふれ愛フェスタ」を開催されました。テレビ塔がある名古屋の大通公園一帯に各国の多様な料理で一杯のワゴン車が並び、地元アイドルグループのミニコンサートなどもあり、とにかく楽しいイベントでした。入場者数は約7万人、最終日は「ジャパン・ロータリーデーin愛知」と銘打って行われ、全国から多くのロータリアンが参集しました。このように他地区には模範となる素晴らしい活動があります。今回はほかに第3ゾーン内で顕著な活動を続けている2地区について報告して頂きます。



### 第2650地区の活動実績 報告者：ARPIC 伊藤文利

国際ロータリー第2650地区広報・雑誌委員会の役割は・・・

第1にガバナーの方針を広報すること。第2に地区内ロータリークラブ(97クラブ)の広報活動のお手伝いをする事。第3に地区委員会の広報支援と情報共有の強化であります。広報＝PRとは組織体とその存続を左右するパブリックとの間に、相互に利益をもたらす関係性を構築し、維持するマネジメント機能であることを念頭に、ロータリークラブにおける広報・PRの対象はクラブ会員、ガバナー事務所、地区内クラブ、日本のロータリークラブ、世界のロータリークラブ、政府や地方自治体、環境団体や消費者団体です。単に「広く報じる」だけではなく、ロータリーの奉仕活動の意義、役割をグローバルな視野で発信し、その輪と人を媒体として伝えることを目的にしています。

#### ■ガバナー記者会見実施

奈良・京都・福井・滋賀4府県でのガバナー記者会見を実施し、



多くのメディアを通してガバナーの方針や RI ゲイリー C. K. ホアン会長の方針が報道されました。また地区内ロータリークラブから提出されていました。

今年度の活動計画シートの一覧を取材に来られた各社に配布し、地元ロータリークラブの活動への理解と広報のご支援をお願いしました。

#### ■地区広報賞受賞の全 18 クラブの活動ポスター展示

京都駅「烏丸公共地下道」での活動ポスター展を開催。

#### ■ WWW(world wide web) の積極的利用

インターネット網を利用した様々なコミュニケーションツール(ホームページ

フェイスブック、ライン、ツイッター等々)は、ロータリークラブと外部との接点として、重要なものとして捉え、積極的な導入を行っています。

#### ■新ヴィジュアルアイデンティティ (VI) の積極導入と導入支援

#### ■「RID2650 Rotary Dining20142015」

地区内ロータリアンが経営・運営に携わる「食」に関する店舗、会社を紹介する本(ホームページも制作)です。この情報本を介して地域社会を初め、国内外の一般の方々に「ロータリーの活動」を広報する事を目的に企画しました。発刊は 2015 年 2 月を予定。

**文責：第 2650 地区広報・雑誌委員長 中谷裕二良**

### RID2660 における「公共イメージ向上」活動について 報告者：ARPIC 高島凱夫

RI 第 2660 地区では、ここ約 6 年間 RI 公共イメージ補助金を受領することが出来ていることに加え、地区予算の中に「RI 会長・地区ガバナー協調事業費」を設け、地区内での「公共イメージの向上」を図るべく活動費用を予算化することで、スムーズな広報活動を行っている。

2011～2012 年度には、前年度から引き継いだ「感染症ポリオ 残りの 1%の闘い」の DVD を作成、テレビ大阪(放送対象地域・大阪府)を通じ放映を行った。

2012～2013 年度には、8 月に JR 大阪駅(東口・西口)の電子公告媒体を用い「End Polio Now」の画像を含め地区内各クラブの奉仕活動の画像を掲示した。翌 1 月にも同様の掲示を行った(8 月の反省から各場面の掲示時間延長を図った)。

2013～2014 年度は、10 月の世界ポリオデイに合わせ、前出のテレビ大阪を通じ「ポリオ撲滅運動」へのロータリーの取り組みの広報活動を行った。

2008～2009 年度から、ラジオ大阪(放送対象地域・近畿広域圏)において「あなたのそばにロータリー」(年間 10 回、10 分程度)を放送。DGE、AG、地区代表幹事、地区委員長などが出演することが習わしになっている。特に 8 地域の AG は、輩出地域に密着したロータリーの話を提供している。昨年度は、初めて放送を聴いたリスナーから地区宛に「ポリオ撲滅のために」と寄付金が届いたという嬉しい出来事もあった。



## 文庫通信 -325-

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### ■ 地区大会講演より

- ◎ 「人生は感動を求める旅ーより多くの友を持とう」 市川伊三夫 [2014] 9p (D.2530 地区大会記念誌)
- ◎ 「政局を語る」 飯島 勲 2014 11p (D.2520 地区大会レポート)
- ◎ 「やっと見え始めた国家の再生」 中西輝政 2014 16p (D.2670 地区大会記録)
- ◎ 「世界の出来事、日本の出来事～当事者意識で見方が変わる」 黒井文太郎 [2014] 11p (D.2530 地区大会記念誌)
- ◎ 「ミッション・パッション・ビジョン」 大迫三郎 2014 2p (D.2730 地区大会記録誌)
- ◎ 「未来に輝くサイエンス」 藤嶋 昭 2014 11p (D.2590 地区大会の記録)
- ◎ 「奉仕は我が人生」 渡邊美樹 2014 8p (D.2550 地区大会記念誌)
- ◎ 「日本とミクロネシア連邦の関係」 ジョンフリッツ 2014 4p (D.2780 地区大会報告書)
- ◎ 「ロータリー、この素晴らしき世界」 関場慶博 2014 10p (D.2550 地区大会記念誌)
- ◎ 「ロータリーを実践しよう」 杉谷卓紀 2014 6p (D.2780 地区大会報告書)

[上記申込先：ロータリー文庫]

<ロータリー文庫>

〒105-0011 東京都港区芝公園2丁目6番15号 黒龍芝公園ビル3F  
TEL: 03-3433-6456 FAX: 03-3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp/>  
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

### ● 2014-2015年度 ガバナー月信 個人配信 登録方法 ●

**第2760地区ホームページより、随時受付中！**  
**<ホームページアドレス> <http://www.rotary2760.org/>**

- ① 第2760地区のホームページを開き、上部メニューのガバナー情報→ガバナー月信をクリックします。
- ② メルマガ登録という部分に、自分のメールアドレスを2回入力して、登録ボタンをクリックすれば登録完了となります。登録された方には、月初めに月信PDFのリンクが記載されたメールが送信されます。メール内のURLをクリックするだけで月信PDFがダウンロードされ、閲覧していただけます。

メルマガ登録	
メールアドレス	<input type="text"/>
ス	<input type="text"/>
(確認用)	<input type="text"/>
<input type="button" value="登録"/>	

前年度登録されていた方は、再登録の必要はありません



## 会員数及び出席報告 (平成 26 年 10 月末)

	クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月 女性	入会		退会		例 会 数	10月 出席率
		2014年 7月1日	2014年 7/1女性	2014年 10月末日		10月	累計	10月	累計		
南尾張分区	半田	62	4	65	4	0	3	0	0	5	100.00%
	常滑	39	0	38	0	0	0	0	1	3	96.44%
	東海	53	2	56	3	0	4	1	1	5	95.36%
	東知多	19	1	21	1	0	2	0	0	5	79.05%
	半田南	38	1	36	1	0	0	0	2	4	97.14%
	知多	27	3	29	3	0	2	0	0	3	83.52%
	大府	16	0	16	0	0	0	0	0	4	66.90%
	7RC	254	11	261	12	0	11	1	4		88.34%
	西尾張分区	一宮	89	1	91	1	1	3	0	1	4
津島		63	4	67	4	0	4	0	0	5	99.66%
尾西		20	1	20	1	0	0	0	0	3	96.67%
一宮北		38	2	38	2	0	0	0	0	4	94.30%
稲沢		55	1	55	1	0	0	0	0	5	82.89%
あま		79	2	79	2	0	1	0	1	3	100.00%
名古屋清須		28	1	31	2	0	3	0	0	4	91.07%
尾張中央		30	0	33	0	2	3	0	0	4	96.42%
一宮中央		42	6	42	6	0	0	0	0	4	92.26%
9RC	444	18	456	19	3	14	0	2		94.59%	
東尾張分区	瀬戸	64	6	64	6	0	2	0	2	5	97.43%
	犬山	59	0	61	0	0	2	0	0	4	100.00%
	江南	49	0	48	0	0	0	1	1	4	95.23%
	小牧	30	2	30	2	0	0	0	0	4	82.85%
	春日井	56	2	58	2	0	2	0	0	5	97.93%
	尾張旭	25	1	25	1	0	0	0	0	5	96.00%
	名古屋空港	54	1	55	1	0	1	0	0	3	100.00%
	瀬戸北	66	7	66	7	0	0	0	0	3	100.00%
	岩倉	15	1	15	1	0	0	0	0	3	95.56%
	名古屋城北	31	5	31	5	0	1	0	1	3	92.40%
	愛知長久手	20	5	20	5	0	0	0	0	4	95.00%
	愛知-刈-Eクラブ	22	7	23	7	0	1	0	0	5	100.00%
	12RC	491	37	496	37	0	9	1	4		96.03%
	西名古屋分区	名古屋	182	0	189	0	0	9	0	2	4
名古屋西		96	0	104	0	1	8	0	0	4	86.44%
名古屋南		119	0	122	0	0	3	0	0	5	94.11%
名古屋みなと		71	0	71	0	0	0	0	0	4	100.00%
名古屋東南		77	6	82	6	0	5	0	0	4	92.52%
名古屋中		130	0	129	0	0	1	0	2	3	99.10%
名古屋瑞穂		63	0	63	0	0	0	0	0	5	97.05%
名古屋大須		57	5	60	6	0	3	0	0	5	91.25%
名古屋栄		82	0	83	0	0	1	0	0	3	93.18%
名古屋名南		54	8	52	8	0	0	0	2	4	86.95%
名古屋名駅		80	6	83	6	0	5	0	2	4	99.68%
名古屋丸の内		44	7	47	8	0	3	0	0	5	95.24%
中部名古屋みらい		22	7	22	7	0	0	0	0	4	29.55%
13RC		1,077	39	1,107	41	1	38	0	8		88.76%

	クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月 女性	入会		退会		例 会 数	10月 出席率
		2014年 7月1日	2014年 7/1女性	2014年 10月末日		10月	累計	10月	累計		
東名古屋分区	名古屋北	91	0	92	0	0	2	0	1	5	99.15%
	名古屋東	87	0	88	0	0	2	0	1	2	90.24%
	名古屋守山	39	3	40	3	0	1	0	0	5	91.66%
	名古屋和合	104	0	104	0	0	0	0	0	4	81.71%
	名古屋名東	59	7	60	7	0	3	1	2	4	88.06%
	名古屋名北	38	5	38	5	0	0	0	0	5	98.30%
	名古屋千種	41	3	41	3	0	0	0	0	4	92.58%
	名古屋昭和	51	2	52	2	0	1	0	0	3	96.31%
	名古屋錦	29	9	29	9	0	0	0	0	4	88.45%
	名古屋東山	31	4	34	6	0	3	0	0	4	95.50%
	名古屋葵	19	0	20	0	0	1	0	0	4	65.00%
	名古屋アイリス	33	12	34	12	0	1	0	0	4	84.09%
	12RC	622	45	632	47	0	14	1	4		89.72%
東三河分区	豊橋	116	3	116	3	0	2	1	2	4	92.38%
	蒲郡	56	0	55	0	0	0	1	1	5	90.59%
	豊橋北	73	4	73	4	0	0	0	0	4	96.25%
	豊川	71	1	70	1	0	0	0	1	5	92.36%
	田原	43	1	43	1	0	0	0	0	3	95.85%
	豊橋南	56	0	57	0	0	1	0	0	3	99.29%
	新城	43	2	43	2	0	0	0	0	3	75.97%
	渥美	33	0	34	0	0	1	0	0	4	81.60%
	奥三河	15	3	15	3	0	0	0	0	5	90.00%
	豊川宝飯	54	2	59	2	1	5	0	0	4	93.67%
	豊橋ゴールデン	64	2	66	2	1	2	0	0	4	96.15%
	田原バシフィック	48	1	50	1	0	2	0	0	3	90.16%
	豊橋東	42	0	43	0	0	1	0	0	5	96.19%
13RC	714	19	724	19	2	14	2	4		91.57%	
西三河分区	岡崎	77	3	85	3	0	8	0	0	5	100.00%
	豊田	93	0	93	0	0	0	0	0	4	99.71%
	岡崎南	95	2	94	2	0	1	0	2	4	99.72%
	豊田西	95	1	94	0	0	2	0	3	3	99.52%
	岡崎東	57	1	60	1	0	3	0	0	4	99.53%
	豊田東	77	0	78	0	0	1	0	0	4	94.75%
	岡崎城南	74	0	74	0	0	0	0	0	4	95.62%
	豊田三好	19	0	20	0	1	1	0	0	2	93.75%
	豊田中	40	6	42	6	0	3	1	1	4	97.53%
9RC	627	13	640	12	1	19	1	6		97.79%	
西三河分区	刈谷	94	4	93	4	0	2	0	3	3	100.00%
	安城	61	4	61	4	0	1	0	1	4	96.22%
	西尾	77	1	80	1	3	4	0	1	4	95.61%
	碧南	68	3	69	3	1	3	0	2	5	100.00%
	西尾一色	25	0	27	0	1	2	0	0	4	94.92%
	高浜	33	2	33	2	0	0	0	0	4	100.00%
	知立	61	0	60	0	1	1	1	2	4	100.00%
	西尾KIRARA	58	0	58	0	0	0	0	0	4	98.47%
	三河安城	64	6	64	6	0	0	0	0	4	99.19%
9RC	541	20	545	20	6	13	1	9		98.27%	

	クラブ	平均
平均出席率	84	93.14%

地区内クラブ数 84 R C	2014年7月1日会員数	4,770名	内女性 202名	増加会員数(累計)	132名
	2014年11月末会員数	4,861名	内女性 207名	減少会員数(累計)	41名
	当月平均出席率	93.14%		差引純増会員数(累計)	91名

11月	入会	退会	純増
	13名	7名	6名